

1. 現計画

(1) 基本計画概要

整備位置	きらら西公園東側（動物とのふれあいゾーンとして整備）
整備計画内容	○ペットと気軽に戯れることのできる公園施設の整備。 ○他の公園施設と区別するため、逃げ出したペットがほかの公園利用者に影響を与えないために全体をフェンスで区画化する。 ○アジリティドッグは明確なコート規定がないため、フリスビードッグコートを利用し、道具を設置して運営を行うことを想定。
整備予定面積	5,000 m <sup>2</sup>
駐車台数	普通車 97 台（第3駐車場：供用済み）
各種規模	管理棟スペース 500 m <sup>2</sup> ドッグラン 2,500 m <sup>2</sup> フリスビードッグ 2,000 m <sup>2</sup> （アジリティドッグ含む）
開園期間	4月～11月（12月～3月は閉園）

(2) 配置計画

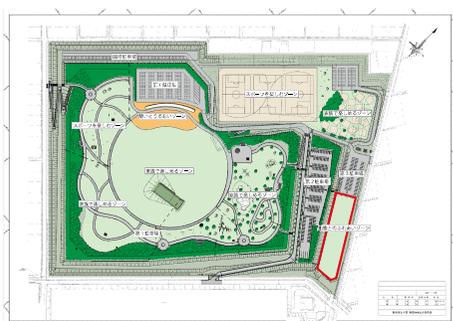


図1. きらら西公園計画図

2. P-PFI の導入可能性検討

(1) 設置者と事業者の役割分担（参考）

設置者（新潟市）	運営事業者
<b>【整備予定施設等】</b> ○敷地全体 ・造成、整地 ・水飲み場 ・トイレ ・芝張り	<b>【整備可能な内容】</b> ○愛玩動物とふれあうための施設の設計、整備 ○競技道具、フェンス、ベンチ、日除けの設置 ○犬のつなぎ場の設置 ○都市公園法第五条の二に示す、都市公園の利用者の利便の向上を図る上で特に有効であると認められるもののうち、当該公園にふさわしいと思われる施設 <b>【運営内容】</b> ○利用者の対応 ○イベントや独自運営の開催 <b>【維持管理内容】</b> ○ドッグラン、アジリティドッグ、フリスビードッグの日常管理 ○競技道具の点検

※基本構想に基づいた参考例であり、役割分担を固定するものではありません



図2. 活用イメージ

（出典：5・5・502 赤塚公園基本計画見直し検討業務委託報告書）

(2) 実現可能性調査項目

テーマ	調査項目
整備方針	・ドッグラン、アジリティドッグの整備は、公園利用者のニーズに適しているか ・整備計画地の規模や位置等の特性は整備方針に適しているか ・他の公園エリアと連携（拡大）して取り組む事項はあるか
事業性/収益性	・事業が成立するために必要となる事項は何か ・収益を上げるために必要となる事項は何か ・地域事業者が参入できる要素はあるか（例：トレーナーの参加等） ・その他収益性を検討できる要素はあるか
運営年数	・事業着手年度はいつごろから希望するか ・事業を実施する場合、契約年数はどの程度必要となるか
プランニング	・ドッグラン、アジリティドッグ以外に動物とのふれあいゾーンとして適した施設はあるか
役割分担	・設置者に整備を要望する施設等は何が想定されるか